

平成24年度いわき市農林業賞受賞者決定



【個人及び協業経営の部】

鵜沼 源 栄 様 木 戸 忠 重 様

平成24年度いわき市農林業賞の表彰式が平成25年2月14日に行われました。

同賞は生産技術の向上や経営の改善を図るなど、いわき市の農林業の振興と発展に功績のあった個人・団体等を表彰するもので、今年度は個人及び協業経営の部で2名が受賞されました。

受賞者を代表して、木戸さんが謝辞を述べました。



将来的に予想される生産者の高齢化対策として、自動換気システムを導入し省力化を図るとともに、「とちおとめ」のLED電照栽培による育成の促進や蒸散器を導入し病害の発生防止に努めるなど、収量、品質の向上に努めた。

新規就農者の研修ほ場を増設し、産地維持に繋がる後継者作りに高く貢献している。

J A いわき市いちご部会部会長として、部会を挙げて廃ビニール等を回収し適正な処分を行う等、環境に配慮した栽培に積極的に取り組むとともに、部会員全員のエコファーマーの認定を持続させるなど、地域農業の発展に大きく寄与した。

部会長として、市内の幼稚園等を訪問し、「いちご祭り」を開催するなど、本市のブランド化推進作目であるいちごの普及、宣伝並びに消費拡大に尽力した。



受賞理由

大玉で収量が多い「ふくはる香」をいち早く導入し経営の安定化を図るとともに、「とちおとめ」とともにいちご2品種のブランド化に努める等、いわきいちごの名声を高めた。

鵜沼 源栄さん(65)

いわきいちごの名声を高め、収量、品質向上及びJ A いわき市いちご部会部会長として地域農業の発展に貢献した。

き米」を生産している。

南部地域の稲作作業受託にいち早く取り組み、年間1ヘクタールを超える受託依頼を遂行。年々面積を拡大している。

また、「天のつぶ」等、新品種の作付けや米の2次加工にも積極的に取り組んでおり、地域農業の中心的担い手である。

施設菌床椎茸の生産にも力を注いでおり、高品質な椎茸は高い評価を得ている。

長男安道氏が就農し、農産物のインターネット販売による新たな販路の拡大に努めるなど、農業経営の向上に意欲的である。

今後は、これまで以上にいわきの地域農業を力強く牽引することが期待される。



受賞理由

J A いわき市稲作受託部会支部長、J A いわき市環境にやさしい米作り部会支部長を務めている。エコファーマーを取得しており、長年にわたり良質な「いわ

木戸 忠重さん(73)

J A いわき市稲作受託部会支部長、環境にやさしい米作り部会支部長を務め、長年にわたり良質ないわき米の生産と地域農業の発展に貢献した。

